

いかわ



議会 だより

No. 166

2026. 5. 1



ますます頑張るぞー!! (はつらつ健康教室)

3 月議会

(会期・3月9日~18日)

令和8年度予算	2
令和7年度補正予算等	3
予算特別委員会	4~5
予算特別委員会総括質疑	6~7
常任委員会審査	8
一般質問(5議員登壇)	9~14
条例改正・陳情・人事など	15
頑張り屋さん・議会のうごき	16

令和8年度 一般会計予算

町内振興費補助金 約1.8倍に増額!!

予算総額

39億円

(前年度比) 6.6%増



町内会活動を支援

各特別会計予算

- ▶ 国民健康保険事業特別会計 …………… 6億3880万円 (前年度比 0.7%増)
- ▶ 国民健康保険井川町診療所特別会計 ……… 8520万円 (前年度比 0.8%減)
- ▶ 介護保険事業特別会計 …………… 7億8590万円 (前年度比 3.1%減)
- ▶ 介護認定事業特別会計 …………… 2710万円 (前年度比 1.8%減)
- ▶ 介護サービス事業特別会計 …………… 3億4740万円 (前年度比15.0%増)
- ▶ 後期高齢者医療特別会計 …………… 9800万円 (前年度比42.0%増)

今定例会では、報告1件、承認4件、工事請負変更契約の締結2件、条例制定・改正13件、令和7年度一般会計及び各特別会計、水道事業会計の補正予算7件、令和8年度一般会計予算及び各特別会計7件、水道・下水道事業会計予算各1件、同意1件、諮問1件、発議1件を審議し、全て原案どおり可決、承認。陳情1件を採択し関係機関へ意見書を提出した。

令和8年度の主な新規事業



新入学をお祝い

- ◎ 町内振興費補助金の見直し【総務課】 1300万円
1町内当たり現行の補助金より約1.7～1.8倍。
- ◎ 町内分館LED化改修工事【総務課】 5577万6千円
電気料金の軽減を図る。26分館で実施。
- ◎ 子育て応援入学支援金事業【健康福祉課】 600万円
義務教育学校前期課程 …… 5万円/人
後期課程 …… 8万円/人
// 高等学校 …… 10万円/人
- ◎ 洪水ハザードマップ作成事業【町民生活課】 72万6千円
「井川町災害ハザードマップ」を更新、全戸配布。
- ◎ 宅地開発事前調査委託事業【産業課】 300万円
小竹花地区において調査を実施。
- ◎ クマ対策事業【産業課】 362万円
・ 猟友会補助金・賠償保険・免許取得補助等 …… 92万円
・ 緩衝帯整備委託 …… 170万円
・ 誘因樹木伐採事業 …… 100万円
- ◎ 義務教育学校空調設備工事【教育委員会】 1億2587万3千円
体育館、多目的ホール、美術室、技術室に空調設備を設置。

令和7年度

一般会計補正予算

全会一致可決

総額50億6980万円 2億4840万円を追加

歳出の主な内容

- ◆ 電算管理費 4190万9千円減額
- ◆ 財政調整基金積立金 2億5000万円追加
- ◆ 公共施設等整備基金積立金 1億180万円追加
- ◆ 井川町診療所繰出金 3779万3千円追加
- ◆ 防災・安全事業費 3607万円減額
- ◆ 道路メンテナンス事業費 2757万7千円減額
- ◆ 水道事業出資金 2680万円追加

各特別会計補正予算

- ◆ 国民健康保険事業特別会計 59万6千円減額 総額6億4390万円
- ◆ 国民健康保険井川町診療所特別会計 300万7千円減額 総額8289万3千円
- ◆ 介護保険事業特別会計 17万4千円追加 総額8億4308万9千円
- ◆ 介護サービス事業特別会計 659万7千円追加 総額3億1904万8千円
- ◆ 後期高齢者医療特別会計 200万円追加 総額8305万3千円

令和7年

第5回臨時会

全会一致可決

令和7年12月26日開催

議案第78号

令和7年度井川町一般会計補正予算(第8号)について

1億3320万円を追加し、47億6810万円とする

歳入の主な内容

- 物価高騰対応重点支援交付金 1億101万1千円追加
- 物価高騰対応事業補助金 1234万3千円追加

歳出の主な内容

- 地域応援商品券 25000円×4100人 追加
- 1億250万円追加



● 上水道基本料金助成

1810円×3か月 全世帯・事業所 1002万5千円追加

● 灯油購入費緊急助成事業

6100円×500世帯 (非課税世帯) 305万円追加

● 子育て応援手当支給事業

20000円×363人 726万円追加

全員協議会

- ▶ 第1回 1月29日開催
 - 議会主催 「町民・議員との意見交換会」について
- ▶ 第2回 2月25日開催
 - 執行部主催 令和8年度井川町当初予算内示について
 - 議会主催 「町民・議員との意見交換会」の事後検討について
- ▶ 第3回 3月16日開催
 - 議会主催 「町民・議員との意見交換会」活動報告の広報について

議案第79号

● スポーツ少年団選手派遣費補助金 秋田県ミニバスケットボール大会準優勝 50万円追加

令和7年度井川町水道事業会計補正予算(第3号)について

議案第80号

秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更等について

育みを支え未来への扉を開け!

予算審査

予算特別委員会 委員長 八柳 喜行

総務課

問 ふるさとづくり基金
寄付金の予算を1億
5000万円にした根拠
は何か。

答 米価が見通せなく、
令和7年度のふるさと納
税額の約半分を予算額と
した。増額補正となるよ
う頑張る。

問 湖東厚生病院運営費
補助金1398万円は
年々増加傾向にあるのか。

答 病院が赤字になった
場合の限度額である。

問 宿泊棟外構工事
1800万円の予算額で
整備できるのか。

答 外構工事は、不測の
事態が生じない限り予算
額を上限とした。



工事が進む宿泊棟

問 宿泊棟サイト構築業
務委託は何社を利用す
る考えか。

答 予約サイトの構築ま
では町で実施する。何社
の予約サイトに掲載する
か、運営会社で考えてい
くこととなる。

問 移住支援金について、
首都圏の方に対し移住の
きっかけになるようにS
NS等で発信すべきと考
える。

答 勤務地、又は住居地
が東京23区内という制限

があることから、実績は
一件のみだが、各種媒体
による情報発信に努める。

税務会計課

問 土地改良区の会議が
あった際、診療所側の駐
車場に駐車しており、診
療所を利用する方が役場
側駐車場から診療所まで
歩いてくるのがあった。
何か対応は。

答 駐車場の利用状況に
ついては、これまで把握
できていなかった。今後
は土地改良区等の会議が
開催される際には駐車場
を占有しないよう、適切
に対応していきたい。

町民生活課

問 生ごみ処理機購入費
補助金について、1世帯
3万円だが今までどれく
らい購入されているのか。
電気代高騰の中、購入で
きない方が大半である。

答 令和7年度の申請件

数は7件となっている。
最近販売している生ごみ
処理機は、省エネ仕様にな
っている。今年度に補
正予算で3台購入してお
り、令和8年度まちづく
り懇談会に持参し、実際
に体験してもらいたい。

問 空き家対策総合支援
事業補助金と空き家等除
去費については、それぞ
れ何件を想定しているの
か。行政代執行のルール
は定めているか。

答 危険空き家解体が1
件50万円の3件分、併せ
てリフォームが15万円の
1件分で合計165万円。
行政代執行は、仮にその
ケースになった場合は、
事例を参考にし対応し
ていきたい。

教育委員会

問 義務教育学校管理費
の機械器具費2300
万円はタブレット端末等
の購入ということだが、
文字を書く機会が減った

り、遊んでしまうといっ
たことが懸念される。

答 これからの時代を考
えると、子ども達にとつ
て必須のスキルであり導
入を図るものである。懸
念は理解しているので、
今後教育委員会と学校が
話し合う場で伝えていく。



義務教育学校

健康福祉課

問 新規事業の子育て
援入学支援金について、
給付を受ける方の制限は
あるか。また、今後こど
もセンター入園時や大学

令和8年度の注目事業

- 子育て応援入学支援金事業(600万円) … 義務教育学校前期、後期、高校入学時に5~10万円を支給
- 井川町みのりの未来農業継続補助金(1000万円) … 5年間の継続事業で、不足すれば補正
- ツキノワグマ誘因樹木伐採事業費補助金(100万円) … 柿、栗等の伐採で業者委託時に費用の2/3補助

産業課

入学時など、対象を拡充する考えはないか。

答 4月1日に町内に在住していること、町税に滞納がないこと、過去に給付を受けていないことなどを条件で考えている。今後事業に対しての意見等聞きながら拡充は検討していきたい。

問 この支給時期はいつ頃を想定しているか。

答 基準日が4月1日のため、その後に申請を受けて、5月中の支給を想定している。

問 さくら苑は各種改修を進めているが、隣接した障害者支援施設桐ヶ丘のように、改築の予定はあるか。

答 具体的な予定はない。障害者支援施設桐ヶ丘は昭和61年に設立し、増築・改修を繰り返し築41年に至っている。さくら苑は平成12年の設立で現在築26年であり、当面は修繕しながら維持していきたいと考えている。

問 みのりの未来農業継続補助金について、8年度は1000万円の予算だが、足りなくなれば補正するのか、利用する方が減れば予算を打ち切るのか。

答 7年度は実績では41人に3900万円の補助見込みとなっている。8年度は今年度より減ると見込んでいるが、足りなくなれば補正対応を考えている。本事業は5カ年は継続する予定。

問 花火打上等業務委託について、昨年は花火が落ちてから爆発したが、今年も同じ業者が打ち上げるのか。また安全対策はどのようなのか。

答 来年度も同じ業者に委託する予定である。一尺玉については打ち上げ場所を昨年度の保安距離である240mからさらに40m距離をとるようにして打ち上げる計画である。



昨年日本国花苑さくらまつり花火ショー

り、安全対策を万全にしたい。

問 ツキノワグマ誘因樹木伐採事業費補助金について、1本伐採すること4万円の補助となるのか、予算はなくなれば補正するのか。

答 1本につき4万円を上限とする。本数の上限は設けない。予算が不足する場合には、補正することを考えている。

問 クマ出没時の対応マニュアルはあるか。

答 対応マニュアルは昨年からはまった緊急銃猟

に関する追記が出来上がっている。近々猟友会と対応マニュアル等に関して意見交換会を実施する。

問 農山漁村振興交付金について、農協の総代会でも話は聞いていたが、町としての関わりについて教えてほしい。

答 農協からやさしい畑の増改築にあたり有利な補助金がないか相談があり、補助の要件として町が窓口となり申請する必要があった。やさしい畑が井川町にあるので井川町が窓口となつて関わる。また、



増改築が予定される「やさしい畑」

施設整備後は井川町の特産物など、地元のPRブースの設置も計画している。

問 道路補修工事について、道路に穴が確認された際に場所によって対応が早い時と遅い時がある。業者の繁忙にもよるが、仮補修だけでも早く対応できないか。

答 職員で対応できるものは職員で補修を行っているが、他の業務もあるためすぐに出来ない場合もある。すぐに対応できないものについては注意喚起等を行いながら安全確保に努めたい。

問 今年度坂本団地から八田大倉までスノーポールを設置したが、そこから天神までの間に吹き溜まりができて何度か車が突っ込んでいた。ここに設置は考えていないか。

答 スノーポールに限らず反射ポールを設置も含めて現地調査した上で検討したい。

その予算どう活かせるか

令和8年度

予算審査特別委員会 総括質疑

伊藤秀人 新規事業の宅地開発事前調査委託事業は候補地が見つかったので今後調査して宅地を造成していく目的で予算計上したのか。

町長 宅地造成の可否を検討するための測量調査を行うもので、必ずしも造成するわけではない。立地条件で優先順位の高い小竹花地区を調査するための予算計上である。

問 宅地造成につなげていってほしい。他の自治体と異なる住民サービスを広げつつ、将来的に成功することを期待する。

答 宅地造成をいつやるかは未定。時間も経費もかかるため、都度議会に判断いただきたい。土地の状況を見定める最初の一步の予算である。

浅野義幸 町長の交際費について、五城目町、八郎潟町などは広報に使用を掲載している。本町の広報にも掲載してほしいとの町民から声があるが、掲載についてどう思うか。

町長 広報に掲載するのはかまわないが、広報の紙面に余裕がなく、紙面を割いてまで掲載するより、ホームページに掲載する等方法を検討したい。

藤田将五 宿泊棟について、秋の開業に向けてクマ問題に対しての安全対策は考えているか。

町長 宿泊棟に限定したクマ対策は検討していない。

問 風評被害が出ることも考えられるが、安全面のアピールは考えていないのか。

答 宿泊棟だけでクマ対策ができるものでないと考えている。総合的に考

えていく必要がある、国一花苑全体で対策していく。電気柵や忌避剤といった

安全対策はしていくが、効果については未知数である。



宿泊棟建設現場（4月1日現在）

三浦成利 企画費について、地域活性化SNS等運用委託の動画投稿について効果がなかったためやめたと総務課質疑の答弁があったが、フォトコンテストに移行した経緯は。また、動画投稿を改

善することはしなかったのか。
町長 SNS戦略とフォトコンテストは全くの別物。現在インスタグラム内で実施しているフォトコンテストを、より多くの方に投票してもらえる

ようなシステムに移行するもの。地域活性化SNS等運用委託をする予定がないのは、今年度実施して効果があつたか検証できず、担当課で見直した結果だ。



跡地の活用は（旧小学校解体現場）

伊藤秀人 新規事業の子育て応援入学支援金事業について、県内で同様の支給をしているところは少ない。このようなお祝い金を支給することを選択した理由は。

町長 子育て支援を考える上で学校入学時にお金がかかると試算し負担し

ようと考えた。出産祝い金よりも、成長の段階にに応じて支援したほうが効果が高いと思うし、町民にとつてもいいのではと考えた。子育て応援に係るふるさと納税が多く入ってきているので、子育て支援事業を増やすために活用していきたい。

伊藤俊郎 基金の状況について、あらかじめ目標金額を設定して積み上げているのか。それぞれの基金の目的は何か。

町長 基金の目的はそれぞれ条例に規定している。基本的に基金はある目標金額まで積み上げるものではない。他自治体は、

財政調整基金を積み上げて自由にお金を使えるようにしているが、本町では特定目的基金を定め、その事業にしか使えないような基金にしている。全体を見つつ繰越金や償還金により調整している。

伊藤一彦 定住促進センターの利用料410万円、

老人福祉センター利用料203万7千円に対し、それぞれの管理費が2318万円、2291万円9千円で約4000万円の赤字である。利用料を値上げしたり町内外の利用者での利用料の価格差を設けたりする予定はないか。

町長 検討はしていない。利用料を徴収している町内施設は、管理費に対してに合うような利用料を設定していないし、赤字だからやめるといふ判断をするつもりもない。現状は金銭的な理由から値上げすることは検討していない。

伊藤一彦 旧小学校解体後の対応は考えているか。

町長 検討が煮詰まっていけないので、維持管理費が必要と感じている。解体が来年度中に終了しない可能性も考えられるが、令和9年度の予算には維持管理の予算を計上しなければならぬと思う。

伊藤一彦 旧小学校の解体後の利活用について、現時点での考えは。

町長 国花苑全体として利活用を検討しているため、すぐに何かを造る予定はない。議論を尽くさないまま着手するべきではなく、ある程度の期間は維持管理せざるを得ない。

常任委員会審査

総務産業

問 井川町一般職の職員の給与に関する条例の改正により7級制となることは、採用募集するにあたって魅力になる。近年、

離職者もいる中で職場環境など課題はあるか。
答 最大の課題は、新卒応募が来ないことであり、職員の年齢構成が歪になつている。新卒採用者を年1人でも取って、バランスを保ちたい。

問 町ホームページ及びSNSの更新は業者対応か。町の公式LINEの活用がスタートしたが、更新頻度が極めて少ない。
答 各担当が更新している。更新頻度の少なさは感じている。情報を持っている担当の、意識改革など活用に向け改善を図る。



リニューアルした井川町ホームページ

問 テニスコートとキャンプ場の減額について、クマの影響による減額か。
答 特にキャンプ場は多分に影響があると思う。テニスコートについては年々使用者が減ってきているためだと思われる。

問 巡回バスについて、町民より要望はあるか。利用者数は。
答 個人的なこと以外の要望はない。月約500人程度で推移しているが、前年度から月数十人程減少。

問 男鹿潟上南秋消防組合の新設で介護情報センターを井川町に設置するのだが特別財産扱いとなるのか、行政財産扱いとなるのか。
答 使用目的が決まっております。行政財産扱いとなる。

教育民生

より救済するものだが、9年度も適用になるのか。
答 8年度のみ適用で、9年度は、現役階では、わからない。
問 国民健康保険税が増加した要因はなにか。
答 農業所得の増加によるものである。

居宅サービス事業について増額となっているが、当初の見込みに対して人数が増加したのか。
答 利用する定員は定められている。令和7年度の当初予算は令和6年度の実績を基に予算を組んでいて、6年度がコロナの影響で受け入れをしていなかった時期もあり、例年と比べて少なくなっている影響と思われる。
問 教育委員会の事務局費の減額はなにか。
答 修学旅行の引率教員の旅費と、台湾シンペイ市の姉妹校締結に伴う校長の旅費分の実績精算である。



介護情報センター入口

一般質問

5人の
議員が

町の考えを問う

P10	5番 伊藤 秀人 議員（一問一答方式） 1 「株式会社イカワプラス」の設立から1年の振り返りについて 2 令和7年度井川町のふるさと納税について
P11	8番 伊藤 俊郎 議員（一問一答方式） 1 特定管理鳥獣（イノシシ）の被害防止対策について 2 特定管理鳥獣（クマ）の被害防止対策について 3 指定管理鳥獣の解体施設の設置について
P12	1番 伊藤 一彦 議員（一問一答方式） 1 令和7年度事業の成果と評価について 2 役場職員の離職及び採用状況について
P13	6番 三浦 成利 議員（一問一答方式） 1 冬期除雪委託作業について 2 高齢者、障害者家庭の除（助）排雪の公扶助について
P14	7番 藤田 将五 議員（一問一答方式） 1 地域道路の維持管理について 2 スポーツ施設の整備、利便性向上の取り組みについて

※質問の詳細は議事録で見ることができます。議会事務局にお問い合わせ下さい。

◆一般質問のルールについて◆

発言時間は1人30分以内。質問方式は、一括質問方式と一問一答方式があります。

一括質問方式とは

議員が通告した質問項目のすべてを一括して質問し、その後町長などが一括して答弁を行う方式。答弁は3回まで要求できる。

一問一答方式とは

議員が通告書に記載した質問項目ごとに質問・答弁を行う質問方式。1つの項目について質問が完結してから次の項目に移る。

定例会の一般質問が
3月9日に行われ、
5人が質問しました。

一般質問

1年経ってどうなった 順調なスタートが切れた



いとう しゅうと
伊藤 秀人
議員

伊藤秀 株式会社イカワプラス設立の意義名分からして約1年の振り返りは。

町長 民間に業務委託したことで業務体制が整い、ふるさと納税が大きく伸びた。農家所得の向上が図られたかはまだ未知数な部分はある。

設立1年目の振り返りとしては、想定以上の順調なスタートが切れたと考える。課題や修正点はあるが、民間に事業委託して専門にやるということ、1年目にしてなかなか頑張ったという評価はいただけるものと考ええる。

伊藤秀 設立時予定していた業務の4本柱の振り返りはどうか。

町長 会社の社長ではなく町長としての答えになる。

ふるさと納税に関しては、1年目としては想定を大きく上回る実績になった。

加工品の製造は、製品開発がスタートしたが時間の経過が得ながら試行錯誤を重ね、より良い商品開発につなげる。

宿泊施設の管理・運営は、完成が7月末の見込みで、秋ごろのプレオープンを予定している。町として運営方針等を検討している。

デマンド交通事業の運営は、運営形態、需要、ニーズ等を見極めながら方針を検討の段階で、時間を要している現状だ。



イカワプラスの事務所



イカワプラスの精工工場

ふるさと納税 どうなった

寄附金額 3億円超えた

伊藤秀 令和7年度の寄附獲得件数と獲得金額は。

令和7年度の寄附獲得件数と獲得金額は、1億7453万2000円、事業指定なし1億4521万5000円。事業指定ありの主なものは、子育て支援関係1億400万円、環境保全景観の維持関係2600万円、社会福祉関係1500万円。

総務課 参事 令和8年2月末時点で寄附件数1万977件、寄附金額3億1974万7000円。

令和8年2月末時点で寄附件数1万977件、寄附金額3億1974万7000円。

伊藤秀 負担付き寄附（事業額と負担なし寄附（事業指定なし）の金額は。

令和8年2月末時点で事業指定ありの金額は、令和7年度と同額の予測、見直しは。

総務課 参事 令和8年2月末時点で事業指定あり

令和8年2月末時点で事業指定ありの金額は、令和7年度と同額の予測、見直しは。

伊藤秀 次年度以降において令和7年度と同等の寄附獲得件数、金額の予測、見直しは。

町長 見通しであるが、現時点では米の動向が分からないため、それによって大きく左右されると見込んでいる。少なくとも令和8年度の寄附額は1億5000万円を当初予算においた上で、それ以上積み上げられるように頑張っていくという回答になる。

伊藤秀 寄附額の約半分は町の財源に活用できるが、全国の皆様の本町に対する応援を今後どのように生かしていくのか。

町長 事業指定ありについては、寄附者の想いを尊重し、指定された事業にふるさと納税で入ってきた財源を充当する。事業指定のない寄附については、今後重点的に取り組む事業へ柔軟に活用できるので、現在力を入れていく子育て支援、教育の充実、農業振興、日本国花苑の整備、基金積立等、町の将来を見据えた施策に積極的に充当していきたい。

一般質問

指定管理鳥獣の対策は 広域的な取り組みが必要



伊藤 俊郎 議員
とうしろう
いとう 俊郎

伊藤俊 昨年は、イノシシの出没場所は、東部地区に多く出沒し、春先から秋の稲収穫までに多大な被害をもたらし、農家に多大な被害と精神的ダメージを与えた。今後は、被害地域を指定したモデル地区を設定し、外部の専門的指導者の下地域住民と一



増え続けるイノシシ

体となった取り組みが必要ではないか。
町長 くくり罾を中心に対策を講じてきたが、個体数の増加や生息域の拡大でなかなか効果が得られていない。被害に遭われている農家をはじめ、地域住民にとっては非常に深刻な問題であると受け止めている。忌避剤によるモニタリング調査を行ったところ、少し効果は認められたが、春の農繁期に検証を再度行う予定である。被害防止には、広域的取り組みが必要であり、猟友会の力を借りながら対策を行っていく。



生活圏へ進入するクマ

生活圏侵入防止対策は 複合的対策の実施で対応

伊藤俊 昨年はクマ23頭の捕獲であった。ツキノワグマの出没は、人間社会の生活圏への出没も多く、町民の日常生活に多大な恐怖と不安を与えた。今までは、「鳥獣被害

対策実施隊」による駆除が主であったが、これからは行政の指導の下、長期的展望の中での取り組みが必要であり、人身被害防止や農作物被害防止に万全を期して取り組み考えは。

町長 令和8年度の緩衝帯整備事業は飛塚、横岡地区を計画している。また、誘因樹木の伐採等複合的対策を行うことで効果が出てくると思われる。電気柵設置については、地域住民との話し合いが必要。効果を上げるには、実施隊との話し合いのなかで、駆除や棲み分け、防除など複数の対策が必要。

解体施設の設置は

現状を検討中

伊藤俊 有害駆除で捕獲された鳥獣の解体は、

現在個人の建屋内で行われている。床面をブラシ等で水洗いしても、肉片や血痕が残り、後始末後も長期にわたり匂いが残る状態である。

町長 現状では、町単独での解体処理施設の設置は難しい。埋設や焼却することが現実的な手段であるとして現状検討している。

町では解体場所や施設

一般質問

ふるさと納税の現状と成果は 昨年比較で8倍以上の伸び



かずひこ
伊藤 一彦
議員

伊藤 前年度から約8倍もふるさと納税額が伸びたことは、素晴らしいことである。ふるさと納税の現状と成果について伺う。

総務課 参事 現状としては、2月末時点で約3億2千万円の寄附を頂いている。昨年度の約3千900万円と比較すると8倍以上となっており、各種経費を差し引いた約1億6千万円が町の貴重な一般財源として活用できることになる。

伊藤 ふるさと納税が、順調に継続的に想定を超えていくことを願っているが、今後の見通しと改善点があれば伺う。

町長 昨年は市場での米価格高騰等によってふるさと納税が米に流れたようだが、今年は先行きがわからない。市場でダブついて値段が下がると報道等で行われており、どういう状況になるか見通せないことが一番の不安材料。また、10月の制度改正の影響が加工部門にどう影響するのか見定めなければならない。



ふるさと納税の主力商品

(株)イカワプラスへの 考え方は

納税額の最大化と町の財源確保

伊藤 町として、ふるさと納税の増額に絶大な効果をもたらした(株)イカワプラスへの、今後の対応や考え方について伺う。

町長 町としては、ふるさと納税の中間業務、特産品開発関係業務、今後宿泊棟管理運営、デ

旧小学校解体事業の 進捗状況は

工事の進捗に遅れで工期の延長

伊藤 丘の上の解体工事のため、状況等がわからないので進捗状況について伺う。

教務長 参事 今年度は、管理棟と高学年棟の解体工事である。

アスベスト除去、外構の撤去、管理棟は解体したが、高学年棟の解体や埋戻し等だが進捗が遅れが生じているため、工期延長をお願いしている。



解体が進む旧小学校



一般質問

重機等購入助成は 付属品等購入前向きに



うら 三浦 成利 議員

三浦 町委託の除雪作業内容について町民からの問い合わせ、要望や苦情は、

産業課長 約100件ほどの要望、ご指摘をいただいた。

指摘が60件、破損等通報が13件、排雪要望が6件、個人的、主観的意見が19件あった。それから防ぎようのない、「作業の音がうるさい」とか「出勤の時間が遅い」、また早いなどといった意見などもあった。

三浦 各町内会長や民生委員、委託業



者等、共に町内を廻るなど情報収集し、まとめてオペレーターに周知してシーズンに入る事は。

町長 改善できる箇所や、苦情の多い箇所の

注意事項等を事前に資料にまとめ、シーズン前に除雪業者に説明をしている。

除雪業者が安全でスムーズな作業ができるよう町としても努力している。

三浦 除雪に適した重機

などの購入に必要な助成、または町として除雪機購入管理し、企業もしくは個人のオペレーターを確保、または職員が作業に当たり、除雪対

応が難しい場所を除雪する等の考えはあるか。

町長 井川町のように比較的降雪量の少ない地域については、業者の中でも重機購入に踏み切るのは難しい、当然機械の大小があるので一律にはいかない。例えばローダー本体でなく除排雪作業に使用する付属品やアタッチメント購入であれば前向きに検討する時期に入ってきていると思う。

重機を町で購入して維持管理やオペレーターを採すということは、管理費等の費用の面を考えると今の段階では考えていない。

高齢者支援は 複雑な課題

三浦 安心安全な手助けとしての除(助)排雪等を行う町としての支援の取り組み策を伺う。

町長 公助ではなく、共助の部分で町全体でもう一度というやり方があるか相談して知恵

を絞る必要があると思っている。それでもなお公助が必要であれば、そこで何ができるか検討する。高齢者の除排雪についての複雑な課題だということ認識している。



一般質問

道路の景観維持・向上を 地域との話し合いが必要



藤田 将五 議員
ふじたしょうご



井川さくら駅から国花苑までの町道

刈払い機の他、機械を使用しないと町内全域の草刈りが出来ない状況に差し掛かっている。しかし、誰がどこまでやるのかというのは、地域との話し合いが必要だ。全体のバランスを見ながら物事を進めていきたい。

藤田 町道の舗装の老朽化、構造物の破損や側溝の詰まりなど、維持管理をしている上での課題をどう認識しているか。
産業課長 通行の安全確保や浸水被害防止等の観点からも重要な

課題と認識している。事後保全だけでなく、計画的対策と、日常的な維持管理の徹底が重要だ。
藤田 町内の景観、交差点やカーブの見通し悪化などに影響する道路沿いの草刈りについて、過疎化、高齢化が進む中で、町内会、シルバー人材センターでの人材が不足している。何らかの対策を講じる時期ではないか。

町長 シルバー人材センター、また、町内とのパートナーシップと新しい事業を始めているが、人材が確保できない状況となっている。刈払い機の他、機械を使用しないと町内全域の草刈りが出来ない状況に差し掛かっている。しかし、誰がどこまでやるのかというのは、地域との話し合いが必要だ。全体のバランスを見ながら物事を進めていきたい。

屋内施設の拡充は

現時点での更新はない

藤田 町の景観を保つためにも必要な草刈りだが、井川さくら駅から国花苑までの路線の歩道、植樹帯の雑草が気になるという声がある。国花苑には多くの家族連れなどが来園している。町

のイメージアップのためにも定期的な草刈りを望む声もあるが町の見解は。
町長 当該箇所の草刈りは業者により日常的に行われている。反対側の花壇についてはシルバー人材センターへ委託

藤田 町民が日常的に運動できる環境づくりも自治体の重要な役割だ。しかし近年は、日中は猛暑となり、早朝や夕方はクマが出没しやすい時間帯で屋外での運動が困難な状況だ。この現状についての問題意識はあるか。

なる日も多くあった。これまで以上に屋外活動を推進していくのは難しいということは問題意識として持っている。

町長 今年度「いかわラソン」「ふるさとフォトウォーク」「町民ぶらり旅」がクマの出没により内容を変え実施することとなった。夏休み期間中の町民プールも、猛暑やクマ出没により中止と

町長 町民体育館、スポーツ交流館の利用者は増え、回っている状況。スポーツ交流館の



一度も更新されていない運動器具

器具については、一度も更新していない状況ではあるが、ウォーキングマシンやランニングマシン等も問題なく使えているので更新は考えていない。スペース的な問題もあり増台は難しい状況だ。現状を再度確認するが、現時点では更新する状況ではないと考えている。

条例制定・改正

3月議会に上程された条例の制定1件・改正12件は、常任委員会で可決すべきものとし、本会議において全会一致で原案どおり可決した。

● 介護情報センター設置条例の制定

制定趣旨 介護認定事務の一部を分掌させるため介護情報センターを設置する

● 井川町情報公開・個人情報保護審査会条例

改正内容 情報審査会と個人情報保護審査会を統合するため

● 井川町職員等の旅費に関する条例

改正内容 国家公務員の旅費規定に合わせ所要の整備を行う

● 井川町情報公開条例の一部を改正する条例

改正内容 利便性を向上させるためオンラインによる開示請求を行う

● 男鹿潟上南秋消防組合の新設に伴う関係条例の整備に関する条例

改正内容 新組合の新設に伴い関係条例を整備する

● 井川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

改正内容 国家公務員の旅費規定に合わせ所要の整備を行う

● 井川町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

改正内容 各委員の報酬を増額改定する

● 井川町特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例

改正内容 国家公務員の旅費規定に合わせ所要の整備を行う

● 地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償等に関する条例等の一部を改正する条例

改正内容 国家公務員の旅費規定に合わせ所要の整備を行う

● 井川町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

改正内容 人材の確保と定着を図る観点から7階級を導入する

● 井川町ふるさとづくり基金条例の一部を改正する条例

改正内容 寄付金の効率的な管理運営と効果的な事業推進をはかるため

● 井川町介護保険条例の一部を改正する条例

改正内容 前年度非課税者に限り保険料の減免により救済するため

● 井川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

改正内容 道路法施行令の改正によるもの

陳情

1件

◆「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」を採択し国に意見書提出を求める陳情

今定例会では陳情1件、全会一致で採択し意見書を提出することとした。

全国町村議会議長会表彰

町村議会議員として15年以上在職



副議長 浅野 義幸

町村議会議員として多年にわたり地域の振興発展に寄与された功績により、令和8年2月6日、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受けました。

人事案件

同意1号 固定資産評価審査委員会 委員

再任 伊藤 優光 (小泉)

諮問1号 人権擁護委員

再任 藤田美保子 (田中)



湊 こずえさん
(坂本町内)

令和6年に井川町の直ぐ近くの潟上市(旧飯田川町飯塚)に、パンは勿論ですが、かき氷やソフトクリームを販売して大好評となっている「ぱんだどおー」を開業した、店長の湊こずえ(坂本町内)さんにインタビューしてみました。

- Q** パン屋さんを始めるきっかけはなんですか？
- A** 夫の建築事務所を身近に感じて頂き、気軽に立ち寄れる場所にしたという思いから、週末だけのパン屋を始めました。
- Q** パン屋さんで、楽しいこと、大変なことにはどんなことがありますか？
- A** 色々なお客様とふれあえることと、パンがきつかけで事務所を知って頂けることが楽しいことです。仕込みから販売までの忙しさはありますが、その分やりがいも感じています。
- Q** 井川町は、どんな町になって欲しいと思いますか？

- A** 落ち着いた雰囲気の中で、子育てが出来、自然や季節を感じながらゆったりと過ごせる町だと思おうので、その魅力が広がり若い世代が増えていくような、あたたかく賑わいのある町になって欲しいです。
- Q** こずえさんから見た、町の好きなどころを教えてください。
- A** 地域の繋がりがしっかりしていて、人の温かさを感じられるところが好きです。
- Q** 友達等に勧めたい町の魅力があれば聞かせて下さい。
- A** 子育て支援が充実していて、とても暮らしやすい町だと思います。さくらの季節に行われる日本国花苑さくらまつりは、キッチンカーや音楽イベント、夜の花火なども町の魅力を楽しめる素敵なイベントなので、是非、多くの方々に勧めたいです。

(担当 伊藤 一彦)

議会のうごき

- | | | |
|---------|---------------------------|-------------------|
| 12月15日 | 議会だより編集委員会 (以降3回) | (役場：小会議室) |
| 16日 | 第3回井川町福祉理事会 | (桐ヶ丘) |
| 19日 | 学校給食調理場運営委員会 | (井川義務教育学校) |
| 19日 | 南秋田郡町村議会正副議長並びに事務局職員合同研修会 | (五城目町：五城館) |
| 23日 | 八郎湖周辺清掃事務組合議会定例会 | (男鹿市：クリーンセンター) |
| 25日 | 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会定例会 | (八郎潟町：役場) |
| 26日 | 第11回議会運営委員会 | (役場：正副議長室) |
| 26日 | 第5回井川町議会臨時会 | (役場：議場) |
| 1月4日 | 井川町消防出初式 | (農村環境改善センター) |
| 9日 | 井川町農業再生協議会総会 | (農村環境改善センター) |
| 9日 | 湖東3町商工会新春賀詞交歓会 | (八郎潟町：農村環境改善センター) |
| 14日 | 第4回井川町福祉理事会 | (桐ヶ丘) |
| 27日~28日 | 南秋田郡町村議会議長連絡協議会視察研修 | (東成瀬村・岩手県紫波町) |
| 29日 | 第1回井川町議会全員協議会 | (役場：大会議室) |
| 29日 | 陳情に関わる内容説明と懇談 | (役場：正副議長室) |
| 2月5日 | 井川こどもセンター評議員会 | (井川こどもセンター) |
| 7日 | 井川町合同厄祓・還暦祭 | (農村環境改善センター) |
| 11日 | 町民・議員との意見交換会 | (農村環境改善センター) |
| 12日 | 秋田県町村議会議長会理事会 | (秋田市：市町村会館) |
| 12日 | 秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会 | (秋田市：市町村会館) |
| 12日 | 町村長と町村議会議長との意見交換会 | (秋田市：アキタパークホテル) |
| 20日 | 議会と農業委員会との意見交換会 | (農村環境改善センター) |
| 20日 | 国民健康保険運営協議会 | (役場：第2会議室) |
| 20日 | 介護保険・地域包括支援センター運営協議会 | (役場：第2会議室) |
| 25日 | 第2回井川町議会全員協議会 | (役場：議場) |
| 26日 | 井川町交通安全対策協議会 | (農村環境改善センター) |
| 26日 | 日本国花苑さくらまつり実行委員会 | (農村環境改善センター) |
| 3月1日 | 井川町婦人会総会 | (農村環境改善センター) |
| 2日 | 第1回議会運営委員会 | (役場：正副議長室) |
| 3日 | 井川町社会福祉協議会理事会 | (役場：第2会議室) |
| 6日 | 井川義務教育学校卒業式 | (井川義務教育学校) |
| 9日~18日 | 第1回井川町議会定例会 | (役場：議場) |

編集後記

議会だよりの編集に携わって2年が経過しました。この2年間で自分が変わったところを考えてみました。まずは、農業法人を立ち上げました。それから孫が4人になりました。いたずらで短歌を始めました。少額のNISAを始めました。自宅の水廻りをリフォームしました。右膝にもミズが溜まるようになりました。

た。etc
そんなことを考えながら、議会だよりの編集にも、ほんの少しづつでも変化してきていると感じて頂けるよう、興味を持って頂けるよう、手に取って頂けるよう、見て頂けるような紙面を目指して編集委員全員で試行錯誤して取り組んで参りたいと思います。
(伊藤一彦 記)